

インドネシア：政策金利を0.25%引き上げ5.75%へ 5月以降で累計1.0%の利上げ、ルピアの安定を重視する姿勢強める

インドネシア中央銀行（BI）は6月18日、政策金利を0.25%引き上げ、5.75%に決定しました。6月9日に0.25%の緊急利上げを実施したばかりですが、一段の利上げによって通貨ルピアの安定を重視する姿勢を鮮明にしました。ルピアは6月8日に対米ドルで史上最安値に下落していましたが、利上げによってルピアの下落に一定の歯止めがかかりました。BIの動向、市場の反応および今後の見通しについて解説いたします。

➤ 5月会合以降で累計1.0%の利上げ

金融政策の概要：

- BIは6月18日、政策金利である7日物リバースレポ金利を0.25%引き上げて5.75%に決定しました。5月の定例会合で政策金利を0.5%引き上げ、6月9日に0.25%の緊急利上げを実施、今回の決定によって、5月以降の累計利上げ幅は1.0%に達しました。BIは、「通貨ルピアの安定を更に強化するとともに、2026年および2027年のインフレ率を目標レンジ（2.5±1%）内に維持するための予防的措置でもある」と説明しています。

インフレ動向：

- 2026年5月のインフレ率は前年同月比+3.08%と、前月（同+2.42%）からやや加速したものの、BIの目標レンジ（2.5%±1%）内に収まりました。BIは、為替の安定と整合的な形でインフレの抑制を図り、2026年および2027年にかけて目標レンジ内での推移を確保する方針です。

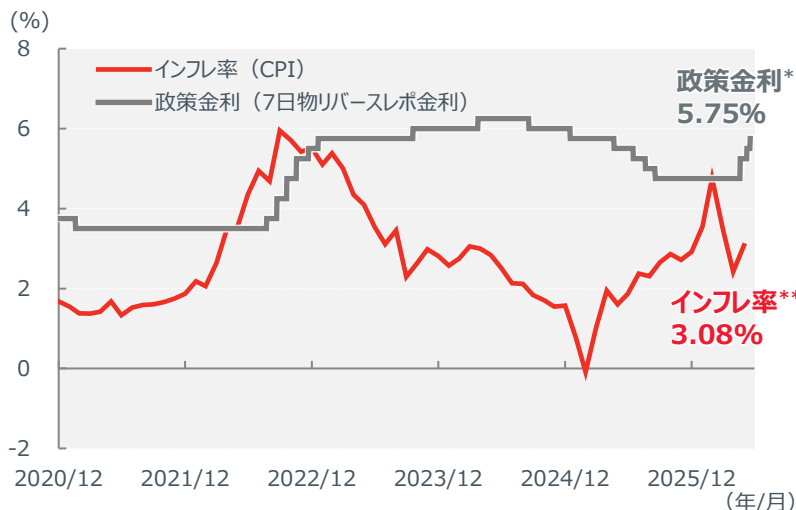
経済成長見通し：

- 国内需要に支えられ、インドネシアの経済成長は引き続き堅調に推移しています。特に、公務員への給与上乗せ支給や低所得者向けの社会扶助支出拡大などの政策効果が家計消費の伸びに寄与しています。BIは、2026年の実質GDP成長率について、4.9～5.7%のレンジで推移するとの従来の見通しを据え置き、引き続き堅調な経済成長を見込んでいます。

政策金利と インフレ率

政策金利*とインフレ率**の推移

（2020年12月31日～2026年6月18日、日次）

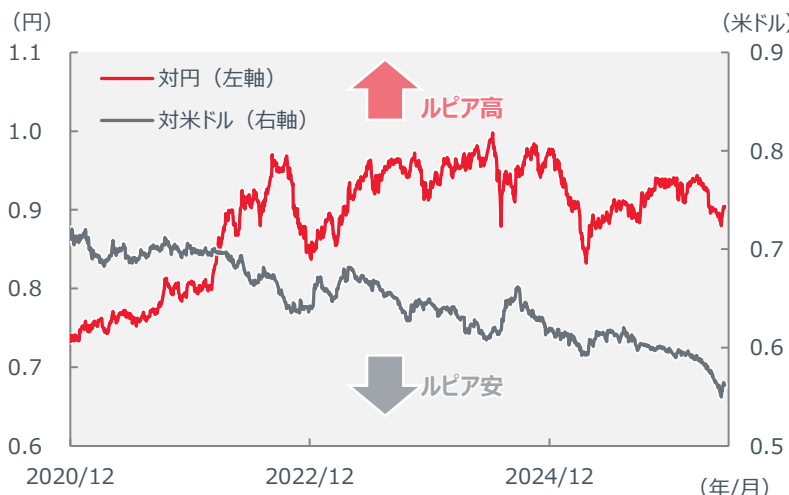


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
* 7日物リバースレポ金利。
** 消費者物価指数（CPI）上昇率。前年同月比。2026年5月まで。

為替

インドネシアルピア（対円、対米ドル）の推移

（2020年12月31日～2026年6月18日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※ 対円は100ルピア、対米ドルは10,000ルピア当たりの推移。

○この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人資産運用業協会

260619(02)

(1/2)

▶ 市場の反応と今後の見通し

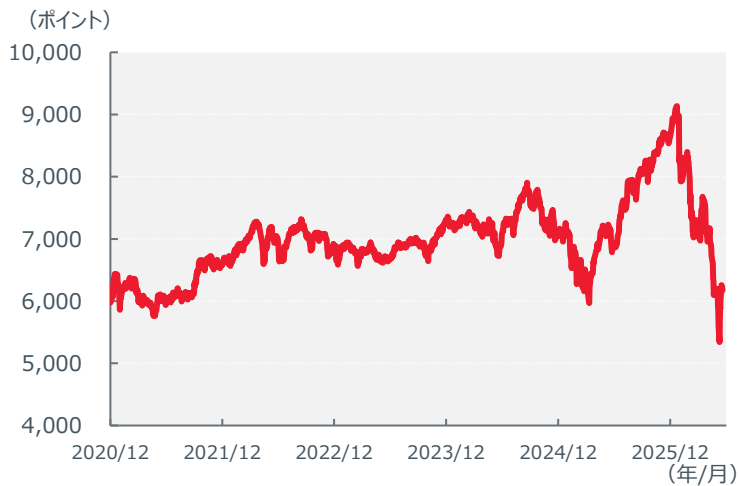
- 6月9日の緊急利上げにより、ルピアは対米ドルで過去最安値から回復しつつありますが、発表当日の18日、ルピアは対米ドルで前日比0.15%下落、対円では0.24%上昇しました。インドネシア株式市場（ジャカルタ総合指数）は前日比0.78%下落、債券市場では10年国債利回りが前日比+15.2bps（+0.152%）となりました。
- 外部環境の不確実性が高い状況が続く中、為替や資本フローの変動が市場動向に影響を与える可能性があり、引き続き注意が必要です。今後は、ルピアの安定動向に加え、インフレの推移やグローバル金融環境の変化などが金融政策運営の方向性を左右する要因として注目されます。BIは、為替の安定を重視しつつ、金融政策とマクロプルーデンス政策***を組み合わせた運営を通じて、経済成長とのバランスを図る姿勢を維持するとみられます。

***金融システム全体のリスクの状況を分析・評価し、それに基づき制度設計、政策対応を図ることを通じて、金融システム全体の安定を確保する政策。

株式

ジャカルタ総合指数の推移

（2020年12月30日～2026年6月18日、日次）

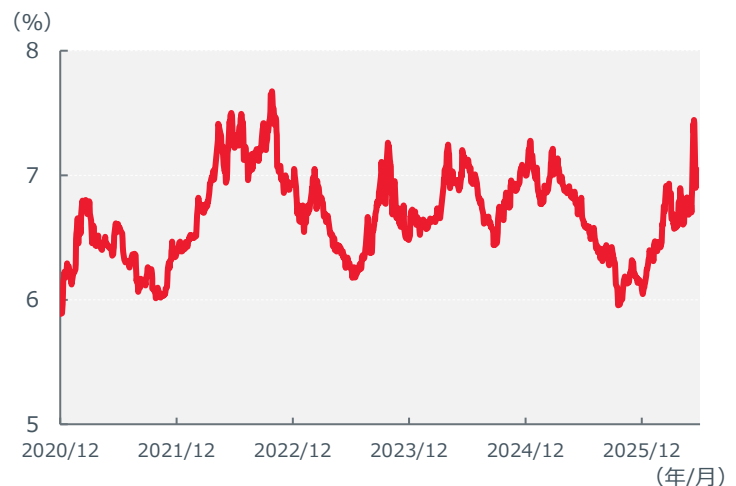


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

債券

インドネシア10年国債利回りの推移

（2020年12月30日～2026年6月18日、日次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項>

○当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。○当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。○当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。○当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。